

1	2
3	4
5	

1.雪深い十日町市でも冬場に不足する青物が生産できるのは先人の努力の賜物。2.ハウスの周りに地下水を流すことで融雪と保温をします。普段は雪が降ると降雪センサーが働いて自動的に水路に水が流れます。3.伝統野菜を守り続ける城之古青葉生産組合の皆さん。4.12月下旬から4月下旬まで栽培されていて、市内と近郊を中心に新潟県内に出荷されています。5.地産地消、食育の一環として、学校給食に城之古青葉を使ったメニューが取り入れられています。

城之古青葉

100年以上前から栽培されている十日町市の伝統野菜。甘みとほのかな苦みのハーモニーで愛され続けています。現在は、城之古青葉生産組合(13戸)でハウス栽培されています。特に3月から出荷される青葉は、つぼみがつくことで青葉の香りが高く一層甘さが増します。鮮やかな緑色で食卓を彩る、冬の貴重なビタミン源です。おひたし、一夜漬、サラダなどでおいしく食べられます。

学校給食

十日町市では、食育と地元食材の地産地消を推進するため、月1回「とおかまちメニューの日」を設けて、児童・生徒が農業生産・郷土料理など地域の食文化に対する関心を高め、食の安全・安心、望ましい食習慣に関する理解を深める取組みを実施しています。



Agricultural Promotion
Agricultural Promotion • Branding of traditional vegetables

Continue to conserve the traditions of agriculture, the legacy of our forebearers, for the future.

Tatenokoshi Aona (a type of spinach) is one of the traditional vegetables that has been grown in the snowy Tokamachi Tatenokoshi region since the Meiji Period. As the president of the Tatenokoshi Aona Growers' Association, Mr. Tsutomu Kobayashi has been working on improving the quality of Aona with the guidance and help of his seniors since 2013. He says "I want to work on further increasing consumption (the branding of Tatenokoshi Aona) and nurturing future successors of the program."

**【振興農業、伝統野菜ブランド化】
継承发扬祖先留下的农业传统，
传给下一代。**

十日町市城之古地区以多雪著称，“城之古青葉”是该地区从明治时期流传下来的传统蔬菜之一。小林勉(Kobayashi Tsutomu)从2013年起担任城之古青葉生産組合長。年齢虽然最小，但在前辈们的指导和协助下，积极带领大家开展提高青葉质量的工作。他说“今后的工作就是进一步扩大消费群体(城之古青葉的品牌化)和培养年轻一代”。

組員の何人かは、地元JAの土壤を研究する会、土(へ)の会で、土壤の改善に努め、安全でおいしい青葉づくりに役立っています。今後は、さらなる消費拡大(城之古青葉のブランド化)と後継者育成に努めていきたいですね。

さんの指導・協力ももらいながら青葉の品質向上に取り組んでいます。信濃川に近く雪深いこの地域で冬場のハウス栽培は大変ですが、先人たちが苦労と工夫を重ねて今につながってくれました。豪雪や洪水、台風など幾多の災害を経て、ハウスも頑丈な造りになり、井戸水で雪を消す仕組みも定着しました。

私は、2012年から城之古青葉生産組合長として先輩の皆様

青葉のブランド化と若手後継者育成に尽力していきます。

青葉のブランド化と若手後継者育成に尽力していきます。

「城之古青葉」は、雪深い市内城之古の地に明治時代から受け継がれてきた伝統野菜です。1911(明治44)年前後に、城之古の2人の高橋さんが太田島の上村さんから大崎菜の種子を分けてもらい栽培を始めたことが起源といわれています。当時雪に閉ざされた妻有の地で一番に収穫される生鮮野菜(青もの)は非常に珍重されたといわれています。現在でも十日町市では、ホウレン草や小松菜と並んで地域を代表する葉物野菜として食卓に上っています。近年では、ハウス栽培により安定生産が可能になり、県内のスーパーや生協・コンビニをはじめ、地産地消に取り組む学校給食にも出荷しています。

profile

小林 勉さん

市内城之古在住。50歳のとき早期退職して就農、家業だった農業を一から教わりました。現在は、水稲1.6ヘクタールのほか、露地畑60アールで丸ナス「梵天丸」と夕顔、5棟のハウス(計8アール)で「城之古青葉」などを栽培しています。

雪深い冬の十日町市の食卓に旬の青葉を届けています。

農業の振興・伝統野菜のブランド化
先人たちがつなげてくれた
農の伝統を未来へと
守り続けます。

冬でも日が射すと汗ばもほどの暑さ。「城之古青葉」を栽培しているハウス内で、奥さんとともに。

雪の中で大切に育てた青葉をぜひ食べてください。

さらなるブランド化と後継者育成をしたいと思います。

